

新たな門出に向けて

校長 藤井 和彦

厳しい寒さを超え、八尾城の木立から吹く風のかおりや高光川のせせらぎに春の息吹を感じる今日この頃となりました。三月二十三日には、いよいよ六名の卒業生は神石小学校を巣立っていきます。六年生の皆さん、卒業おめでとう。

一九六五年に現在の神石小学校となって以来、千人を超える先輩が本校を巣立ち、君たちは五十一回目の卒業生となります。今日の日を迎えることができたのは、皆さんの成長を毎日見守って下さったご家族の方や多くの地域の方々のお陰です。感謝の気持ちを忘れることなく、新たな目標に向かって進んでください。また、人との出会いを大切に、仲間とともに大きく羽ばたいてください。

神石小学校は「リーダーになろう 夢・挑戦・感動」という目標を掲げています。まさしく皆さんは素晴らしい神石小学校のリーダーでした。

これまでの思い出を胸に、自らの夢の実現に向かって、失敗を恐れず挑戦し続けてください。私たちは皆さんが持つて生まれた可能性をこれからもいかなく発揮し、人として大きく成長することを期待し、そっと見守っていたいと思っています。

これまで温かなご支援をいただきました地域の皆様、ありがとうございました。六名の卒業生は学舎を巣立って行きますが、これからも変わりなく、本校の子ども達を見守り励ましていただきますようお願い申し上げます。また、この一年間、神石小学校に対して皆様から戴きましたご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。年度終わりのご挨拶といたします。